

Boyer

22分

きんぎょのぼんし

金子さんの労働と工は4ス4

5行分程度アキ、末尾2行合せ

銀島来井

金子光恵の死を知ったのは六月三十日の午後
 追悼文を記した。十日谷金堂の葬式に行くと
 西脇さんに会い、吉岡実、山本太郎、清水康
 太郎と四谷三丁目であたりで飲みはじめて吉岡
 清水の二人はまもなく帰った。家へ
 帰る気がせぬ。山本太郎とハルア校へ行

きんぎょ太郎は常連さん。いよいよ六月になり
 いよいよとこから阿た谷まで行くところある店
 の店がたまたま西谷のしきり。太郎のほうか
 まだ一かきり。いたとあとかの店にい
 た人はい。た。現代詩年
 りとれから夏はい。た。現代詩年
 の金子さんの追悼座談会に土。安東の男
 清水卓行。杉本と金子さんの話をし
 た。いまはもう夏も終。一。た。九月に
 た。今年に残暑のきいしく雨はし